



～次世代の医療のために～

以下の研究は、皆様よりNCNPバイオバンクに提供いただいた臨床試料（検体、おもに血液・髄液等）と臨床情報の利用を倫理委員会で審査され、活用していただくことが認められた研究です。

この研究について知りたいことや、気になる点がありましたら、遠慮なく下記のバイオバンク窓口にご相談ください。ただし、個人情報の保護、知的財産権の保護により、ご対応・ご回答できない場合がありますので、予めご了承ください。

- ・本研究への協力を望まれない場合は、問い合わせ窓口へご連絡ください。
- ・研究に協力されない場合でも不利益な扱いを受けることは一切ございません。

【対象となる方】

2012年12月7日～2020年9月30日にご同意いただいた方で
自閉症を含む神経発達障害と診断された方、特に疾患のない方

【研究課題名】

精神疾患の病態に關与する細胞内イオン濃度調節分子の機能解析

【研究責任者】

荒木 敏之（国立精神・神経医療研究センター 疾病研究第五部）

【本研究の目的及び意義】

精神疾患の病態にかかわる遺伝子をつきとめるため、自閉症を含む神経発達障害の患者さんの血液からとったDNAを用いて、全ての遺伝子配列を読み、健康な方と比べます。原因遺伝子が分かれば治療法・予防法開発へ結びつけてまいります。

【本研究に提供する試料・情報】

DNA、髄液
性別、年齢、診断名、病型、重症度、遺伝子検査結果

【研究期間】

2019年7月22日～2022年3月31日

(問い合わせ窓口)

国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センターバイオバンク

所属 メディカルゲノムセンターバイオリソース部

電話番号 042-346-3520 e-mail: biobank※ncnp.go.jp(「※」を「@」に変更ください。)